

事業所名 グループホームあいあい
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成20年 3月31日

評価機関名 ㈱東京リーガルマインド
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員
A:現職 社会福祉法人生活指導員
資格・経験 身体障害者職業生活指導員、社会福祉主事、ホームヘルパー2級、介護支援専門員、難病患者等ホームヘルパー
B:現職 デイサービスセンター管理者
資格・経験 介護福祉士、介護支援専門員、福祉住環境コーディネーター、音楽療法トレーナー

自主評価結果を見る (事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る (評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

外部評価の結果

講評
全体を通して特に良いと思われる点など(記述)
高台に位置するホームからは、瀬戸内の静かな海が一望でき、心が落ち着き安らげる環境である。
医療機関と連携体制が整っており、緊急時にはいつでも対応してもらえる。毎週、往診があり、日常の健康管理に関しても専門的な指導が受けられ、入居者・家族共に安心が得られる。
入居者個々の生活スタイルを尊重し、一日の固定したスケジュールは作らず、入居者の生活ペースに合わせて支援している。
食材は、代表者が栽培した無農薬野菜を使い、食の安全と入居者の健康に配慮した献立作りを行っている。
入居者一人ひとりの経歴・趣味・能力等を把握し、持てる力を十分に活かし、潤いのあるホーム生活の実現に向けて日々取り組んでいる。
入居者の担当を順番に交代し、総ての入居者の状況や個性を把握して共通理解を図り、統一したケアサービスを提供している。

特に改善の余地があると思われる点(記述)
運営推進会議の充実を図り、地域住民・関係者の更なる参加を求め、「グループホームあいあい」が地域にとって必要不可欠な社会資源として地域に貢献されることを期待する。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	<p>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</p> <p>「グループホームあいあい」の名が示すように、和気あいあいとした家庭的な雰囲気の中で、その人らしい暮らしと安らぎのある共同生活を目指している。</p> <p>笑顔が溢れる挨拶から一日が始まり、入居者が明るく元気で過ごせ、嬉しいことも楽しいことも皆で共有し、もう一つの家族として共に暮らしていくことを目指している。</p> <p>入居者の内に秘めている能力や可能性を探り、入居者が生き生きと活性化した生活が営めるように支援している。</p> <p>入居者の個性を尊重し、一人ひとりと向き合い、その方のペースで生活できる家庭的な環境の提供を目指している。</p> <p>食生活には留意しており、入居者の希望を取り入れた献立で健康面にも配慮し、食事が楽しみなものになるよう取り組んでいる。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	<p>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</p> <p>心穏やかに過ごせる場所作りに取り組んでおり、入居者の精神的安定と充足感が図れるように支援している。</p> <p>自由な時間の流れの中で、日常生活がマンネリにならないよう、趣味や得意とする分野での楽しみを探し、生活に変化をもたらす、張りのある生活が営めるよう取り組んでいる。</p> <p>レクリエーションを積極的に取り入れ、入居者が生き生きと活性化して暮らせるよう取り組んでいる。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人で行えることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	<p>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</p> <p>職員は入居者一人ひとりの生活歴・能力を把握し、本人の特性・意向を活かす役割作りを行い、入居者の持てる力を発揮できる環境作りに取り組んでいる。</p> <p>プライベートな場所での礼儀をわきまえ、居室にはロックをして確認してから入り、個人に関する情報は他の人の前では話さないようにし、個人のプライバシーに配慮した対応を心掛けている。</p> <p>個人別の記録類は、事務所内で保管し、施錠をして管理している。個人の情報が漏れることがないよう、徹底を図っている。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組		○
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	<p>サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</p> <p>職員研修を積極的に勧め、職員の介護資質の向上に日常的に取り組んでいる。また、介護に関する会合に出席し、最新の情報収集に努め、介護内容の充実を図っている。</p> <p>衛生管理には特に留意しており、「感染症マニュアル」「食中毒衛生管理マニュアル」を設定し、入居者の安全な生活を守っている。</p> <p>ヒヤリハットも含め、些細な事故・トラブルも記録に残し、対策を検討して再発防止に努めている。その内容は、全職員に周知して共有し、共通認識を深めている。</p>		